

令和6年かすみがうら市高校生議会を行いました

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、次代を担う高校生に市政や市議会に関心を持ってもらうとともに、市議会においても今後の議論の参考にするため、市内唯一の高校、つくば国際大学東風高等学校の皆様をお招きし、かすみがうら市議会で初めての「高校生議会」を開催しました。

高校生議会は、令和6年7月17日と10月17日に行い、各日程において、高校生が模擬議員となり、市長に対し「一般質問」を行うグループと、高校生が現職の本市議会議員と懇談するグループとに分かれ、総勢85名の生徒の皆様にご参加いただき、本市の現状や未来について、真剣にご議論いただきました。

Thank you!!



一般質問・答弁 Pick Up

〔市長答弁〕

本市では、財源確保のため、子どもを育てやすい環境整備による働く世代の移住定住の推進や、企業誘致の推進による税収確保、また、ふるさと納税の拡充について取り組んでいます。引き続きこれらの政策を行うことで、財源の確保に努めてまいります。



チーム山中

財源について

市の歳入が約55億円で、歳出が約200億円と、借金や国からの交付金に頼っていると感じます。財源確保のためにどのような政策をしますか。また、どのような成果がありましたか。



議事進行は小座野議長が、高校生の一般質問への答弁は宮嶋市長が行いました。

一般質問・答弁 Pick Up



道路整備について

歩道または道路に出ている伸びた枝や草の整備は、どのような取組を行っていますか。また、自転車移動を安全にするための自転車道を造ってみてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。



チーム藤原

【市長答弁】

市の職員や市内事業者への委託による枝払いや草刈りによって管理しております。そのほか、地域住民の方にもご協力をいただいております。また、自転車道の整備につきまして、本市では早急な安全対策として、道路への自転車ナビマークの設置などを進め、安全確保に取り組んでいます。

霞ヶ浦の衛生について

観光客を増やすためには、霞ヶ浦を綺麗にする必要があると思うのですが、どのような対策をしていますか。



チーム川崎

【市長答弁】

市では、水をきれいにするために、浄化槽の設置促進、家庭や学校での廃食用油の回収、工場での排水規制や、発生したアオコの直接回収などの対策を継続して行っております。国では、那珂川と霞ヶ浦、利根川を水路で結ぶ霞ヶ浦導水事業も推進しており、水を相互に行き来させることで水質浄化が期待されております。



▲高校生議会一般質問の様子は、こちらからご覧になれます。



高校生と市議会議員との懇談会の様子